

西上小だより

学校教育目標

- 明るく元気な子
- よく考える子
- 仲良くがんばる子

平成30年9月11日(火)
土幌町立西上音更小学校
校長 川上 裕明

命を守る・命を救う

北海道としては最大規模の震度7の胆振東部地震は多くの死傷者を出し、地震に伴う未曾有の大規模停電では大きな影響が出ました。今も余波で苦しんでいる方が多くいますし、酪農家の方々の被害は特に深刻だとも伺っています。早く日常の生活に戻りたいですね。

昨日から、本校でも「電力使用量2割削減」を目指し、節電に取り組んでいます。

9/7(金)には、休み時間に抜き打ち(!)で避難訓練を行いました。災害の時に「自分の命を自分で守る」ことはとても大切ですし、「自分自身の安全を確保すれば、自分のために誰かが危険な目に遭うことがない」ことも理解してほしいと思います。

9/6に行うはずだった「ジュニア救命士認定講習」は、改めて実施予定です。

◇◇校長室から◇◇ 「災害時に大切なこと」

防災の日(9/1)直後の9月朝会で、「災害時に大切なこと」～をお話ししました。

①安心しすぎないこと～「このぐらいの雨ならまだ避難しなくても大丈夫」「この程度の地震なら被害はないはず」といった甘い判断は、逃げ遅れなど大きな被害を招きます。最悪の場合を考え行動しましょう。②正しい情報を得ること～非常ベルの後の放送指示、テレビやラジオのニュースなど、正しい判断には正しい情報が大切です。怪情報に惑わされない。

その2日後の大地震と大規模停電、びっくりしましたが、いつ起こるかかわからないのが災害です。正しい行動がとれたでしょうか。

臨時休業翌日の9/7(金)朝、校門のところに立っていると、遠くから

「校長先生のところはタンスなど倒れてきたりしませんでしたか～!？」

と児童の大きな声。こちらから声をかける前のことです。何とやさしい心。

「大丈夫でしたよ。昨日は電気が来なくて大変だったね。夜は何をしてましたか？」

と尋ねると、

「バーベキュー！」

確かに、電気が通じていない夜でも「今日はキャンプだ」と思えば平気(!?)。いつもより明るさが増した星空の下、家族の会話もはずんだのではないのでしょうか。さらに、「停電なんかであたふたしない」親のたくましさを見せつけられたことでしょう。

③明るい心持ちを忘れないこと～今日からこれを、私の「災害時に大切なこと」に加えたいと思います。



みんなで走ろう！陸上教室

8月27日、ホクレン女子陸上部手の皆さんに、走り方の指導をしていただきました。

選手の方達はみんな中長距離走の専門家で、みんなシャープでキレイな動き。監督やコーチの方からは、楽しくも厳しい基礎トレーニングから始まり、「走るときに力を入れる場所は……」「そのタイミングとしては……」など、具体的な指導もしていただきました。

教室の最後には、新田小学校と西上音更小学校の児童混成2チームによる対抗リレー。選手や監督にも加わっていただき、楽しく過ごしました。



土幌牛でクッキング

その翌々日には、西上音更小学校・新田小学校・下居辺小学校による「道産牛肉食育授業」が、総合研修センターで行われました。



講師は、テレビ等でも活躍している東海林明子先生。メニューは「ハッシュドビーフライス」「土幌牛のステーキサラダ」「牛汁」の3品。児童は、学校や学年入り交じった5グループに分かれて、協力しながらの調理です。

料りが完成したら、ふだん行事や儀式でしか使わない総研の大きなホールで食卓を囲んで実食。土幌牛の特徴である「煮ても硬くならない」「脂がスッキリ」「とにかくうまい」を改めて実感しました。土幌町肉牛振興会の□□□会長さんへ質問コーナーなど、たっぷり学んだ一日でした。



明日は開校記念日

大正8年の誕生以来、99回目の誕生日を迎えた西上音更小学校です。

この学校を産み育ててくださった多くの方々のご苦勞を思いながら、西上音更小学校の誕生日をお祝いしたいと思います。